

令和6年度第2回八幡浜市地域公共交通会議 議事要旨

開催日時：令和6年11月22日（金） 15:00～16:00

場所：市役所八幡浜庁舎 5階大会議室

出席状況：委員27人中22人出席

欠席者：株式会社富士タクシー代表取締役 三好 正司 委員
アトムタクシー株式会社専務取締役 宇都宮 弓子 委員
高野地区長 樋田 義幸 委員
国土交通省四国運輸局愛媛運輸支局首席運輸企画専門官 増田 輝彦 委員
四国旅客鉄道株式会社愛媛企画部長 窪 仁志 委員

次第

- 1 開会あいさつ 主催者（八幡浜市長 大城 一郎）
- 2 協議事項
令和6年度事業進捗報告及び令和7年度事業
①おでかけアドバイザー養成プロジェクト
②市街地のバス路線再編、停留所・公共交通総合案内版等の整備事業
③その他の取り組み
- 3 閉会

議事（概要）

- 1 開会（会議成立の報告）
八幡浜市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項に定める構成員の2分の1以上の出席を満たしており、会長が会議成立を報告した。
- 2 協議事項
令和6年度事業進捗報告及び令和7年度事業
事務局が資料に基づき説明した。

<意見・質問>

①おでかけアドバイザー養成プロジェクト

【松山大学：甲斐会長】

おでかけセミナーや養成講座に参加した委員からご意見をいただけたらと思う。また、おでかけアドバイザーの要綱や来年度の支援案について意見はあるか。

【若山区長：中川委員】

福寿草の活動で乗合タクシーが誰でも利用できることを知った。いずれ自分たちも利用する側になることから、このような施策はとても助かる。サービスを続けるためには利用率を上げることが大切であることから、セミナーや講座に参加した。要綱や支援案については、特に意見は無い。

【愛媛運輸支局：山本委員】

市外の立場でセミナーや講座に参加したところ、市民参加者の方でも公共交通を利用したことが無い、利用方法が分からないという話を聞いた。利用方法を周知するアドバイザーの活動によって、公共交通の利用者数が増えていくのではないかという印象を持った。

おでかけ企画参加者への運賃補助制度は良い案だと思う。一度使い方が分かると普段の生活でも利用できるようになるため、アドバイザーのアイデアで公共交通の利用機会を増やすことで、利用者数も増えていくと思う。

②市街地のバス路線再編、停留所・公共交通総合案内版等の整備事業

③その他の取り組み

【愛媛運輸支局：山本委員】

「事業 15：交通事業者の担い手確保を支援」について、陸上交通のみならず、海上交通の船員不足も深刻な状況であることから、離島航路の船員確保についても対象を拡充できないか検討をお願いしたい。

【事務局】

離島航路事業者である田中輸送の和田委員のご意見も確認したい。

【田中輸送：和田委員】

小規模事業者では募集をしても新たな船員がすぐには見つからず、現行の離島航路補助制度では余剰人員の雇用が認められていないことから、離職者が出るたびに船員確保に苦労している状況である。

【松山大学：甲斐会長】

離職者の理由や特徴はあるか。

【田中輸送：和田委員】

定年退職や転職など、離職については様々な理由がある。離島航路は民間航路と給与体系の違いもあるため、離島航路一本で働き続ける方のほうが定着率は高い印象である。

【事務局】

離島航路は現行の欠損補填の補助制度があるため、田中輸送の意見を聞き取りながら支援の在り方を検討したい。

【松山大学：甲斐会長】

「事業 15：交通事業者の担い手確保を支援」について、第 1 回交通会議の内容を踏まえて、自家用有償旅客運送事業者も対象として拡充されるということであるが、事業者であるにこにこ日土の担い手確保に関する実情はどうか。

【にこにこ日土：萩森委員】

運転手 3 名の内、2 名が来年で定年を迎える。代わりの運転手について、1 人は来年の 8 月から勤務できるという回答を得られており、これから大型免許も取得予定である。もう 1 人の運転手も探しているが、まだ決まっていない状況である。

【松山大学：甲斐会長】

他の交通事業者はどうか。

【宇和島自動車：田中委員】

運転手や事務職含め、人手不足が進んでいる状況である。やはり担い手確保においては、勤務条件や待遇の見直し、費用面の支援が求められており、二種免許の取得費用も負担している。また、退職者のカムバック制度も創設した。色々と工夫をしているが、地域的に少子高齢化・人口減少は避けられないため、南予一円に張り巡らしているバス路線を見直しする時期は来ると考えている。急な廃線は利用者への影響が大きいため、市町と協議をしながら、利用状況に応じた運行体系に見直しする必要があると思う。

【松山大学：甲斐会長】

公共交通を利用してもらおうということも重要である。利用促進施策ということで、小学生のおでかけ教室の実施に携わっている委員からの意見はあるか。

【事務局】

小学生のおでかけ教室は、政策推進課のプログラムとして実施しており、事務局で資料作成や引率を行っている。

【松山大学：甲斐会長】

小学生にも利用方法を覚えてもらい、可能な範囲で公共交通を活用してもらおうことで、保護者の負担も軽減されると思う。

【松山大学：甲斐会長】

双岩地区の福寿草の取り組みに携わっている委員からの意見はあるか。

【八幡浜市社協：菊池委員代理 丸山係長】

福寿草は、介護保険法の生活支援体制整備事業に位置付けられる第二層協議体の一つである。少人数ではあるが、地域でボランティアを担ってきた方が中心となり、地域で高齢者の生活を支え合っていくためにはどうしたら良いか話し合い、ゴミ出し問題や乗合タクシーの活用をテーマに活動している。区長にも参加していただき、乗合タクシーの運行時間や乗り場の見直し等、より良いサービスの実現に向けて定期的に話し合っている。

【松山大学：甲斐会長】

サービスを提供している側は周知をしているつもりでも、利用者側に伝わっていないという課題を解消しなければならないと思うため、おでかけアドバイザーの活動にも期待したい。また、福寿草のように話し合いの場を設けることで、より使いやすいサービスになると考える。

【八幡浜市議会総務産業委員会：井上委員】

八幡浜駅を利用した際に、キャリーバッグを持った方に聞き取りをしたところ、バスを利用したとの回答が得られ、少しずつバス利用が認知されているのかなと感じた。また、愛媛県の委員会において、JRの3月のダイヤ改正で、八幡浜駅での発着が1番線に集約される（※特急のみの予定）ことが取り上げられており、益々便利になると感じたところである。会議委員や事業者の皆様の取り組みに感謝したい。

実際に公共交通を利用してみると意外と難しいなと感じ、高齢者には一層難しいだろうと思うが、利用に慣れていくことで解消されていくと考える。例えば、公共交通利用に関するモデルケースを作成・周知していくことで、より公共交通の利便性を実感できるのではないかと思う。定期的に、新しいツアー等を企画して、このようなところに行けるということをPRできると面白いのではないか。また、実際にバスに乗車すると、お盆運休のことを知らなかったり、2社のバス運行時間が重なってしまっているところがあったりと、気づきを得られる。利用者が増え、感想を抽出することによって、更にサービスがブラッシュアップされていくと思う。

【松山大学：甲斐会長】

他に意見が無ければ、協議事項についてお諮りしたい。合意するというところでよいか。

【各委員】

(異議無し)

【松山大学：甲斐会長】

それでは、協議事項について合意いただいたものと認めさせていただく。

3 閉会

【松山大学：甲斐会長】

それではこれを以って、令和6年度第2回八幡浜市地域公共交通会議を終了する。